

水稻、小麦、大豆、キャベツ、アスパラガス／スマート農業、雇用安定化、農地保全
一心共働、大区画ほ場でスマート農業を推進
～農事組合法人塚堀農事生産組合（秋田県横手市）～

経営体の概要

設立年度：平成18年
基幹作物：水稻、小麦
経営面積：79.0ha

現在：令和7年
基幹作物：水稻、小麦、大豆、キャベツ、アスパラガス、すいか
経営面積：276.1ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【当初】

●前歴事業で造成された基幹的農業水利施設の老朽化や地区内の一部で用水不足が生じるなど農業用水の安定供給に支障が出ている。



【現在】

●国営旭川事業（H28～R9）により、老朽化した基幹的農業水利施設を改修し、用水システムの再編に伴う取水施設の統廃合を行うことで、農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定化に貢献している。

営農改善、経営転換等のポイント

①大区画化によるスマート農業の活用

土地改良事業による農業用水の安定供給及び大区画化でスマート農業を導入。効率的な運用には約2haのほ場区画を必要とし、自力による畦畔除去で更に大区画化、最大3.6haの大区画ほ場で耕作。GPS搭載ロボットトラクター、直進アシスト田植機やドローンによる効率化、密苗・湛水直播によるコスト削減で農業所得が大幅に増加。持続可能な農業の確立と地域農業の未来作りに貢献している。



大区画ほ場（3.6ha）

②多品目栽培による従業員の雇用安定化

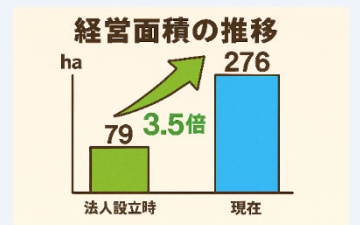
水稻を中心に、大豆、小麦、キャベツの作付けのほか、アスパラガス、すいかなど多品目を導入し、年間を通じた作業体制を確保している。冬季は育苗ハウスでアスパラガスを、夏季はすいかを栽培し、収益の減少を補っている。季節に左右されない雇用体制を構築し、従業員の安定雇用と地域農業の持続性を実現している。



アスパラガスの収穫

③農地保全のための規模拡大及び若手農業法人支援

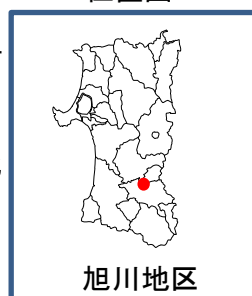
近隣農家から高齢化や後継者不足で耕作困難となった農地を農地バンクを通じて借り受け、地域内の農地が荒廃しないように保全管理している。また、地域の若手農業法人には機械貸与や作業支援を行い、技術継承と後進育成を推進、地域農業の発展に貢献しつつ、安心して働ける農業を定着させるために努力している。



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：秋田県横手市、大仙市及び仙北郡美郷町
受益面積：3,159ha
事業期間：平成28年度～令和12年度
事業目的：農業水利施設改修、用水再編及び耐震化
主要工事：ダム改修1箇所、頭首工改修3箇所、用水路改修L=16.7km、水管理施設改修一式

位置図



<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農地整備課
競争力強化事業推進担当
電話：022-263-1111
内線（4460, 4201）

（令和7年度調査時点）